

アムールトラ
ある日の「ココア」



第11回
なんなんだ!?

今回は、中央広場のシマウマ舎正面にある木調の建物、加藤秋霜記念丹頂動物病院をご紹介します。

平成12年に書家の加藤秋霜様から旧阿寒町へタンチョウの保護のために役立ててほしいと、多額のご寄附がありました。

釧路市動物園ではタンチョウの増殖事業を実施しているほか、保護收容される野生タンチョウの治療や病理解剖を行っています。しかし、老朽化が著しいこと、動物病院が事務所から離れていることや、解剖室と処置室が分かれていない(同じ部屋)ことから、動物園基本計画でも動物病院の改築の必要性が示されていました。そこで、保護收容されてくるタンチョウの治療施設の整備という寄附者の趣旨に沿うことができる新動物病院についてご賛同をいただき、建設することにしました。

新病院は管理事務所近く、処置室と解剖室が分けられ、またスペースも130㎡と既存の倍近くに広くなりましたことから、医療業務の効率化が図られています。丹頂という漢字がついているように、保護收容されてくるタンチョウの治療や病理解剖はもちろん、動物園の動物たちの治療もおこなわれています。新病院の外壁には道内産樹木の節を昇る太陽に見立てた、加藤先生の揮毫によるすばらしい看板も掲げております。

